



補習校便り

2025.10.18

No. 25—22

マイアミ補習校

校長 嶋中 直幸

後期が始まりました！



令和7年度も半分か過ぎました。10月11日からは、マイアミ補習校後期の開始です！

始業式では、後期の目標達成に向けて努力していくことを確認しました。辛い時に頑張ることで、目には見えないけれども自分の人生を幸福に生き切っていける地力を養うことができます。そのことを、樹木が地中で頑張って根をしっかりと張っていく例え話を使って子どもたちに伝えました。

児童生徒代表の発表では、中学部2年生の白神心寧さんが、運動会や学習発表会などの行事に向けて、みんなで力を合わせて頑張ろうと力強く呼びかけました。

最後に、生徒会副会長の立元悠琉さんの指揮で校歌を歌い、式を終えました。

子どもたちは、これから、11月22日のマイアミ補習校運動会に向けて、勉学と共に力を発揮することと思います。しっかり根を張れるように、応援をしたいと思います。今年はハリケーンも少なく、安心しております。このまま、運動会まで、いい天気が続くといいですね。

共読のすすめ ～親子で一緒に音読しましょう～

9月27日の保護者朝礼でお話したことですが、補習校だよりも書いてほしいというリクエストがありましたので紹介します。親子で一緒に音読練習をする方法です。私が現役の教師時代に教室でよくやっていた音読の方法です。教師と児童が共に読むので、「共読（ともどく）」と名付けました。以下、教師の部分を「親」に置き換えて説明していきます。

（1）繰り返し読み

親が一文読む。子どもが同じ部分を繰り返して読む。子どもにとっては負担の少ない読み方です。しかし、慣れてくると、耳で聞いたことをそのまま繰り返すだけ

になるので、親は、時々、わざと間違えて読む。子どもたちには、親が間違えても正しく読むように言っておきます。親と同じように間違えて読んだら、その子は目で文章を追っていないことが明らかです。

（２）交互読み

句点（。）の所で、読みを交代する。（１）よりはやや高度です。しっかり目で追っていないと、どこを読んでいるか分からなくなってしまいます。初めのうちは、ゆっくり読みましょう。

（３）段落読み

段落ごとに、親子が交代して読みます。特に説明的文章などを練習する場合には、形式段落を意識できるので、文章の構成を捉えやすくなることでしょう。

（４）一文字読み

こちらが、保護者朝礼で実演した音読練習です。何か一文字だけ決めて、それが出てきたら、その文字だけを読ませるやり方です。これは、余程の集中力が求められます。子どもは一文字だけ読めばいいのですから楽ですが、ぼーっとしていると読めなくなります。集中力を高めさせたい場面では有効です。

同じひらがなの「は」でも、「Ha」と読む時と「Wa」と読む時があります。例えば「Wa」と読む時だけ読む、というルールにするなど、お子さんの課題に合わせた文字を指定することも効果があります。

（５）漢字だけ読み

ひらがなの部分は親が読んで、漢字の部分は子どもたちが読むというのも「一文字読み」の変化パターンとして活用できます。世界的に、補習校の子どもたちは漢字の読み書きを苦手としている場合が多いようなので、この方法で試してみるとよいと思います。読めれば、子どもたちにとっても自信になりますね。

（６）役割読み

物語など、会話文が多い教材では、登場人物の台詞ごとに読む人を決めて音読していくという方法もあります。

上記以外にも、工夫すればもっとたくさん練習方法はあると思います。大事なものは、親子が楽しんで音読練習をすることですので、どうぞ、お子さんを励ましなが、笑顔で一緒に取り組んでみてください。よろしくお願いいたします。

連絡事項（１０月１８日）

- ◎ 今週から、運動会の全体練習が始まります。
朝は、集会室にて「マイアミソーラン」を練習します。
- ◎ お昼に職員会議を行います。つきましては、子どもたちのお弁当時の見守りをよろしくお願いいたします。

海外子女教育財団からのお知らせ

10/13 号「JOES マガジン」アップ！→<https://joes-magazine.com/>